

【学校教育目標】 「聴き合い、学び合い、支え合い」笑顔があふれ、夢を育み合う子どもを育てる



出水小学校 学校だより

そったく き
啐啄の機 R7 No. 5

令和7年6月18日(水)

熊本市立出水小学校

校長 : 横山 幸生

心のきずなを深める月間

6月は熊本市立学校が一斉に「心のきずなを深める月間」と称し、いじめの未然防止を推進する月となっています。そこで、先日全校集会では次のような話をしました。

おはようございます。先日の運動会、みんなよくがんばりましたね。特にリレーや団体、表現で友達と協力したり、息を合わせて取り組んだりする姿がとてもすばらしく、感動しました。

さて、6月は心の絆を深める月間です。運動会を通してできた友達との絆を、さらに深めていってほしいと思います。そこで、今日は一編の詩をみんなに紹介します。須永博さんという詩人が書かれた「ともだち」という詩です。この詩のパネルは校長先生の子どもに、須永さんが書いてくれたものですが、ぜひ、出水小学校のみんなに紹介したいのもってきました。

ともだちを たいせつにするひとがいます
ともだちを きずつけるひとがいます
あなたは どちらをするひとになりますか
生きてつらいことや さみしいことが あったとき
いちばん うれしいのは
ともだちが やさしくしてくれることです
ちからをかしてくれることです
あなたはぜったい ともだちを
たいせつにするひとになってほしいのです
あなた ともだちとなかよくしてね



このパネルは学校の玄関の所に飾っておきますので、みなさんぜひ見てくださいね。

この詩にある通り、出水小学校のみんなにも友達を大切にすることになってほしいと思います。そこで友達となかよくするために、次のことを校長先生と約束してください。

自分がされて、いやなことは、人にしない。 自分が言われて、いやなことは、人に言わない。
このことをしっかりと守って、誰一人悲しい思いをしない、みんなが笑顔の出水小学校を、みんなで創っていきましょう。

「心のきずなを深める月間」の取り組みとして、出水小学校では、毎月行っている「出水っ子アンケート」に加えて、朝から担任が全ての子どもと1対1で対話をする「教育相談」を行います。このことを通して、一人一人の思いや願いにしっかりと寄り添ってまいります。また、代表委員会では「心のきずなを深める月間で取り組むことを考えよう」というテーマを設定し、それぞれのクラスで自分たちにできることについて意見を出し合います。その後、各クラスの代表が集まり学校全体で話し合いを行います。

このような「心のきずなを深める月間」の取り組みを通して、子どもたち一人一人が、自分自身も友達も大切にできる学校を目指していきます。ぜひ、ご家庭でも「心のきずなを深める月間」について話題にしていいただければ幸いです。その際、何かお気付きなどございましたら、学校へご連絡いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。